

令和3年度

事業報告書

社会福祉法人アトリエ

目次

はじめに	3
令和3年度 社会福祉法人アトリエ 本部 事業報告	4
令和3年度 一から百まで堂 事業報告	9
令和3年度 西門第三図工室 事業報告	12

はじめに

社会福祉法人アトリエ
理事長 磯部 伸之

令和3年度（2011年度）は、大切にする法人理念の実現に向けて、実践する事の難しさを改めて実感した。

つねに、社会福祉法人アトリエの福祉理念として利用者、職員の垣根がない、一人一人が対等な人格を意識することを大切にしているが、コンプライアンス（法令順守）の精神やモラル（倫理観）の欠如と思われる規範を逸脱した事案が多々起こってしまった。職員理事長として、責任を強く意識している。

小規模な法人であり、理事長が管理者としての職務も担い、法人運営の権限が集中していることから、職員の意見を尊重することに留意してきた。しかし、その事がいつしか放任の状態になっていた。それは、理事長が自信を持った決断に欠け、経営ができていなかったこと等が原因として考えられる。

法人理念の実現には、理事長自らが自己研磨し決断力を育て、マネジメントができること、日常的に、職員の自発性や自主性を重んじて、法人の理念に向かえるように理事長が丁寧に支えることが急務である。今後、理事長として自らを戒めてゆく。

令和3年度は、非日常的な事案が多く生じたこともあり、監事に適時、来所頂き、法人運営や法令順守の在り方、会議運営や書類整理のノウハウなどについて、アドバイスをお願いした。また、役員、評議員とも会議をする機会を増やし、適時メール等で連絡し、情報共有に努めた事により法人運営の為のご意見を頂けた。

今後、今まで以上に円滑な人間関係の構築と経営者としての技術を高めるためにも、関係者の方々からご教授を賜るようお願い申し上げます。

令和3年3月31日

社会福祉法人アトリエ 本部 事業報告

総括

事業所の閉鎖や職員の退職と規模が縮小した。一方、収支は、収入にそぐわない人件費の削減ができ経営が健全化する。この機会に人材・環境・規則等、整備すべき事に専門家の力を借りて取り組み始めた。

パワーハラスメントの訴え、利用者家族からのクレームなど人材を見直す機会が多々生じた。問題に対して、適時、役員、評議員とも共有し、適切に外部専門家に助言を得て、対応が出来ている。

法人運営

役員 西門第3 図工室の管理者でもある理事が、勤務時間外に公務執行妨害により逮捕され、交代した。後任の理事には、任意団体時代からの活動理解者でもある元会社経営者を迎えた。

評議員 利用者代表の評議員が1名が交代。元監事が評議員に就任等。

会計 4月より八木会計事務所に業務を委託、担当者2名が毎月来所して適正な処理ができています。

労務 労務トラブルに対して適切な助言が得られなかったため、社会保険労務士を替えることにした。令和3年12月よりOfficeゆめみらいと契約し、眞角社会保険労務士に支えてもらっている。

職員 解雇や退職者が閉鎖や起業により生じている。西門の閉鎖に伴い、常勤職員3名が退職の意向であった。しかし、その後、賞与の支給や有給についての交渉の為に退職届の提出を拒んだことから、閉鎖時期に合わせた解雇予告の後に解雇した。令和4年3月31日に一から百まで堂の主任が退職。自身で法人を作り相談事業所やヘルパー事業など行っていた。本人と直接面談し、その前に起きた起業兼務のトラブルの観点からも法人内で事業展開をお願いはしていた。規程によって、問題に対応できる仕組みは絶対に必要である。

人材について

法人の理念の実現に人材は絶対に必要である。法人理念を外部へ発信する事に意識が行き過ぎて、うわべの表現力に翻弄されていた。職員採用については、まずは、人格、誠実さを重要視する。さらに、雇用に対する危険性や重要性を意識する。人材を中途採用する際は、過去の就労先への調査等を徹底する。試用期間の設定など、雇用に対して、アットホームという言葉で濁した安易な関係の意識は捨てる。一方、信頼できる関係性の構築にこれまで以上に留意する。

職員配置

令和3年3月31日

役職・職種	本部	一から百まで堂	西門第3図工室 はしもとアントルポビジュツ室
管理者・サビ管（常勤）	1	兼務1（本部）	1（傷病休暇）
主任（常勤）	—	3月31日退職	1（12月末解雇）
支援員（常勤）	—	専従2（7月常勤へ）	2（12月解雇）
支援員（非常勤）	—	3（専従1・兼務1）	2（12月末退職）
調理員	—	兼務2	1（12月末退職）
医師・嘱託	—	1	1（12月末終了）
看護師（非常勤）	—	1	1（12月以降勤務無）
事務員（非常勤）	1	—	—

※西門第3図工室元管理者は、在職中に交通事故にあつて、令和4年5月1日まで所属なしで雇用が継続された。

事業活動

一から百まで堂 就労継続支援B型廃止（令和4年1月末）
令和4年2月1日より定員20名
「西門第三図工室（名称変更手続き中：にしもん工房）」
を従たる事業所へ

西門第三図工室 令和3年12月末閉鎖

相談事業

年度計画にあつた相談事業は、元主任（令和3年3月末退職）へ指定の指示をしていた。しかし、「利用者が増えて職員数も不十分である。相談事業を始める時期ではない。」との意見により指定申請を見送っていた。一方、その元主任は、相談支援の資格を社会福祉法人アトリエで取得したにもかかわらず、在職中に自身で法人を設立して、町田市で相談事業所の指定申請をしていた。その元主任の退職希望後（在職中）に当事業所の利用者の相談事業者の契約でトラブルが生じた。

※生活の場のグループホームへのニーズは何件があつた。地域には、規制緩和により新規の株式会社が設置しているグループホームが増加している。部屋数はあるが、サービス内容等、行き過ぎた管理や虐待のリスクがある施設がある。

拠点整備

一から百まで堂

基準を満たす面積に対応するために、閉鎖した西門の拠点を従たる事業所として設置した。計画にあった、令和3年度の増改築的な拠点整備の工事（和室の押し入れ部分改修等）は、令和4年度始めに実施した。

西門第三図工室

計画にあったトイレ問題の解消のための整備については、継続して取り組んでいる。事業所としては閉鎖し、従たる事業所になった為に使用頻度が低くなった。また、検討した新しい賃貸物件は、交渉中である。改修の費用の助成金の申請の観点や人材状況から売買の取引を打診した。現在もオーナーからの返事を待っている。

衛生（健康の維持増進）

毎月1回来所する大村医師によって利用者の健康はもとより、職員も健康の不安があれば相談できる体制がある。

感染症対策

令和3年度も引き続き、新型コロナウイルス感染症への対策を年間を通して行った。利用者1名のコロナウイルス感染が判明した。1週間ほど通所が出来ない状況であったが、感染が分かった日に、プールの活動に参加していたため、感染拡大予防として消毒の徹底と接触者に抗原検査を行った。幸い他の感染者の発生はなかった。保健所、他事業者と連携し対応が出来た。利用者の健康にも配慮した。隔離期間中には、障がいのある兄弟の生活であったため、昼食の提供を行った。

その後も、日常の検温記録や、アルコール等の消毒液での手すり椅子テーブルなどをふき取る作業を徹底している。

防災・防犯

訓練を4月・9月に行った。

広報

職員、利用者の名刺を新しく作った。また、令和3年12月に、ホームページも新しくした。その後、利用者の問い合わせが増え、契約利用者数は定員を上回っている。また、ボランティア活動の希望も増えた。作成したデザイナーとは、生葉染めの体験をして下さったり、名刺を作成してもらったり、活動のアイディアを頂いたり、今後も長くお付き合いいただくことになる。

役員会等の状況

(1) 理事会

令和3年6月11日理事会

場所：一から百まで堂

参加者：理事5名、監事2名、現場責任者2名

- ・令和2年度事業報告の承認
- ・令和2年度決算の承認
- ・社会福祉充実残額についての承認
- ・令和2年度監査報告の承認
- ・次期役員（理事及び監事）について
- ・次期評議員について
- ・定時評議員会開催について

令和3年6月24日理事会（書面評決）

- ・役員任期満了による改選の承認

令和3年7月27日臨時理事会（出席5名 zoom2名）

場所：一から百まで堂

参加者：理事5名（内zoom1名）、監事2名（内zoom1名）、事務局1名

- ・牧野理事辞表の受理についての承認
- ・西門第三図工室の施設長についての承認

令和3年7月29日臨時理事会(出席5名 zoom1名)

場所：一から百まで堂

参加者：理事4名、監事2名（内zoom1名）、事務局1名

- ・施設長の解任についての承認
- ・施設長の任命についての承認
- ・懲戒処分の決定についての承認
- ・評議員会の開催について

令和4年3月24日理事会

場所：障害者支援センター松が丘園

参加者：理事5名、監事1名、オブザーバー評議員2名

- ・2021(令和3) 年度補正予算についての承認
- ・2022(令和4) 年度事業計画案についての承認
- ・2022(令和4) 年度予算案についての承認
- ・牧野元施設長の件

(2) 評議員会

令和3年7月31日定時評議員会（google formによるみなし決議）

- ・理事の辞任についての承認
- ・理事の選任についての承認

(3) 評議員選任・解任委員会

令和3年6月21日評議員選任・解任委員会

場所：一から百まで堂

参加者：外部委員1名、監事1名、事務局1名、理事1名

令和3年12月28日評議員選任・解任委員会

場所：一から百まで堂

参加者：外部委員1名、監事1名、事務局1名、理事1名

- ・評議員の辞任についての承認
- ・評議員の選任についての承認

(4) その他臨時会議（情報交換）

令和3年11月8日臨時会議

場所：障害者支援センター松が丘園

参加者：理事4名、監事1名、評議員2名、事務局1名

- ・西門第三工室閉鎖による事業報告
- ・職員の解雇通知
- ・はしもとアントルポビジュツシツ物品の取引方法 等

令和3年11月22日臨時会議

場所：障害者支援センター松が丘園

参加者：理事4名、監事1名、評議員2名

- ・西門第三工室閉鎖による事業報告

一から百まで堂活動報告

総括

個々の利用者との関係や、利用者からの人と人とのつながりを生かして、法人理念の実現に向けた事業を展開し続けている。

パワーハラスメントの訴えや利用者への対応の問題点で職員間でしっかりと話し合いを持った。チームとして利用者にかかわる事を出来る職員体制になってきた。

基本方針

個性を大切にしたり関わり、そして、活動が充実している。

施設

2月から「西門第三図工室」を従たる事業所にして活動。

満足度の向上

利用日数が増えている事から満足度が向上していると考えている。

苦情・ひやりはっと

- ・法人車両活動中に民家壁との接触が1件あった。
- ・利用者の軽度のやけどが調理中に1件あった。
- ・外部活動（公園）にて転倒事故によるケガが1件あった。
- ・給食提供時に脳性麻痺がある利用者の誤嚥が1件あった。

研修報告

- ・他事業所研修「LaMano」

令和3年7月26日

場所：LaMano

参加者：青山・仁田・大川・小松・菅井・齋藤

- ・TRACING THE ROOTS 旅と手仕事

令和3年10月9日

場所：下北沢

参加者：小松・原田・齋藤

- ・神奈川県相談支援従事者 初任者研修

令和3年7月1日-2日、13日-14日、20日-21日

9月2日-3日、

場所：小田原・平塚・藤沢

講師：かながわ障がいケアマネジメント従事者ネットワーク

参加者：磯部・菅井・塚越

・商品製作研修及び多事業所見学

令和3年4月2日

場所：千駄ヶ谷さをり適塾、吉祥寺マジエルカ、下北沢ファクトリー藍

参加者：菅井・塚越

・横須賀研修

令和3年6月23日

場所：横須賀美術館

参加者：青山・東島・仁田・小松・工藤・大滝・福島・奥・大川・大淵(zoom)
磯部・塚越・菅井・齋藤

・体験「ヘナ/オーガニック弁当」

令和3年4月12日

場所：横浜市

参加者：青山・福島・大滝・齋藤・磯部

・金継ぎ教室（講師渡邊亮氏）

11月7日以降、土曜の午前中に開催することを基本にし、金継ぎ体験を希望する市民も対象に加え、これまでに24回開催

・藍染体験/藍染商品等販売

・吉祥寺マジエルカでの藍染商品（レジンピアス、ポーチ、Tシャツ）取り扱い

・不便利屋

市役所の業務委託を含めて除草作業を主に行った。

・見守りサービス

メンバーと看護師が独居の高齢男性の健康やメンタルの支えを担っている。

・ナイアガラタイムス

発行回数：5回

・カレンダー

発行部数：100部

・外販出店

場所：町田市祥雲寺寺フェス

ユソーレプチマルシェ（相武台団地内）

・誕生会

利用者・職員の誕生月に特別ランチで祝う

- ・BBQ大会
庭を使って、見学者の運転手さんも参加して楽しんだ
- ・お花見
手作りハンバーガーを持って多摩市の宝野公園へ（桜とサッカーを楽しむ）

利用者状況報告

集計期間 : 令和3年4月1日～令和4年3月31日

集計日 : 令和4年3月31日現在

新規契約数 : 10名 / 契約終了数2名

契約人数 単位 : 人

区分	6	5	4	3	2	未	合計
男性	6	0	4	0	0	0	10
女性	1	2	4	2	0	1	10
合計	7	2	8	2	0	2	20

利用実績 単位 : 人

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
区分6	78	69	84	79	74	99	99	88	96	98	95	118	1077
区分5	0	0	0	0	0	0	22	17	21	33	60	49	202
区分4	27	31	55	73	62	105	114	92	79	87	98	104	927
区分3	59	50	67	54	59	46	24	26	46	45	20	25	521
B型	17	3	5	6	0	0	0	0	0	0	0	0	31
計	181	153	211	212	195	250	259	223	242	263	273	296	2758
開所日	22	20	24	24	21	24	26	24	24	23	21	26	279
平均	8.2	7.7	8.8	8.8	9.3	10.4	10.0	9.3	10.1	11.4	13.0	11.4	9.9

就労支援事業

令和3年度 収入 ¥2,523,415

- ・ナイアガラタイムス/不便利屋（除草・樹木伐採作業他）/藍染め商品・体験（手ぬぐい・ストール、レジン他）/カレンダー・金継ぎ等

支出 ¥2,277,365

- ・工賃/職員人件費/経費等

詳細な金額は、決算報告書参照

西門第三図工室（従たる事業所：はしもとアントルポビジュツシツ）

総括

令和3年12月末にて閉鎖。

- ・利用者の母親からの苦情があった。

利用者の障害特性の理解が無い、管理者の独断による処遇

送迎の状況、自身が通所する時の利用者への配慮に欠ける。

在宅サービスの請求が不正（母親が入院中電話で話していないはず）

面談を重ねて対応した。市役所へも報告済み。現在も元利用者の精神的な不安による入院への対応やグループホームも含めたトラブルの相談を受けている。

事故・ヒヤリハット

- ・職員が未許可自家用二輪車使用時に交通事故（管理者が許可）
- ・害虫（トコジラミ）発生・駆除
- ・送迎時法人車両民家塀との接触

利用者状況報告

集計期間：令和3年4月1日～令和3年12月31日

集計日：令和4年3月31日 現在

新規契約数：0名 / 契約終了数1名

契約人数

単位：人

区分	6	5	4	3	合計
男性	0	0	7	0	7
女性	0	3	2	1	6
合計	0	3	9	1	13

利用実績

単位：人

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
区分5	47	45	48	44	42	46	47	46	14	379
区分4	148	131	139	123	122	133	150	155	99	1088
区分3	38	38	28	30	31	33	13	8	10	229
計	233	214	215	197	195	212	210	209	123	1696
開所日	23	24	23	20	19	22	23	23	21	284
平均	10.1	8.9	9.3	9.9	10.3	9.6	9.1	9.1	5.9	6.0

就労支援事業

収入 ¥249,387（デザイン等）/支出 ¥659,603（過去分の工賃支払い含む）